

3時間だけキレイ
好きになった き
っかけのカフェ

そのカフェへ行ってから、

俺は妙にゴミ拾いがしたくなった。

エスプレッソが小さなマグカップに微量入った、濃密かつ豊かな味を楽しむエスプレッソが美味しいカフェだ。

窓側の席へ案内された俺は、

前の棚に並べてあった本から一つ抜き取り、

動物がキャラクターとなって世界を旅する絵本
を読みながらひとときの安らぎを楽しんだ。

若者の青年が店主をしていた。

入り口のドアを開けると・・・。

「車で来られたんですか??」

と聞かれた。店主の目は何故か大きく見開いていた。

キラキラと輝いていたが。

このカフェは穴場。

知ったきっかけは別の場所で知り合った中年の女性。

「孫（まご）がここでカフェをしているのですよ。よかったら・・・・・・・・」

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました。